

「臨床外科」 第33巻 総目次

1978年(第1号~第12号)

数字は通巻頁数、() は号数を示す。

〔特 集〕

最近の手術材料と器具

人工血管

—Expanded polytetrafluoroethylene (Gore Tex) 人工血管と臨床応用の現状—

松本 博志・松 永 仁・三枝 正裕…21(1)

縫合材料…田辺 達三…29(1)

代用皮膚…八木 義弘…37(1)

不織布の新しい応用

古橋 正吉・宮前 卓之…43(1)

Microsurgery の器具

玉 井 進・田北 武彦…51(1)

Cryosurgery の器具

蔵本新太郎・浦田 隆弘・西谷亮一郎

藪田 宗彦・淵之上弘道・森 克 彦…61(1)

消化性潰瘍と迷切術

胃迷切術の変遷…村上 忠重・星 和 夫…171(2)

迷切術の根拠

相 沢 勇・伊 藤 漸・中村 卓次…177(2)

迷切術の適応…渡部 洋三…185(2)

迷切術の適応…榊原 幸雄…193(2)

選択的近位胃迷切術のコツ

長尾 房大・青木 照明…201(2)

選択的近位胃迷切術のコツ

武藤 輝一・松 木 久・野沢 晃一

奈良井省吾・田近 貞克・高桑 一喜

磯 部 茂・佐々木広憲・鰐 淵 勉

田宮 洋一…205(2)

迷切後の遠隔成績

土屋 周二・杉 山 貢…213(2)

迷切の合併症およびその対策

島津 久明・小西 富夫・山岸 健男

谷 昌 尚・高橋 忠雄・朝隈 貞雄

井原悠紀夫・平 田 忠・武部 嗣郎…223(2)

CT スキャン

コンピューター断層撮影の特徴…田 坂 皓…323(3)

コンピューター断層撮影(CT)と人体横断

解剖

木村 和衛・奥秋 興寿・片倉 俊彦

佐藤 善二・鈴木 憲二・伊藤 正巳

新妻 一直・松 川 明…333(3)

CT スキャンの適応

玉木 正男・村野 寿昭・井上 佑一

梅川智三郎・芝切 一平…341(3)

CT スキャン像の読み方

—頭部疾患: 腫瘍—…志賀 逸夫…347(3)

CT スキャンの読み方

—頭部疾患: 出血—

上村 和夫・後藤 勝弥・石 井 清

井須 豊彦・山口 昂一…361(3)

CT スキャンの読み方

—腹部疾患: 肝, 胆道及び膵—

蜂屋 順一・是永 建雄・斎藤 礼子

板井 悠二…369(3)

CT スキャン像の読み方

—腹部疾患: 泌尿器系—…平松 慶博…381(3)

CT スキャンの読み方

—骨盤内腫瘍のコンピュータ断層撮

影—…高橋 陸正・鈴木 正行…387(3)

術後呼吸障害とその管理

呼吸障害からみた手術のリスク

浅 井 淳・森 岡 享…471(4)

急性呼吸障害…高 橋 徹・桂田 菊嗣…481(4)

高齢者呼吸障害患者の術後管理

坂 下 勲・佐々木公一…489(4)

術後の血液ガス異常…吉 竹 毅…499(4)

レスピレーターの使用法とその注意

塩 沢 茂…509(4)

乳幼児急性腹症 <診断のポイントと first aid>

臨床症状のとらえ方と重症度の判定

浅倉 義弘…627(5)

X線像の読み方…長島 金二…633(5)

検査の選択

岡部 郁夫・東 義 治・森 田 建…643(5)

術前管理のポイント

勝俣 慶三・林 隼・横山稷太郎

遠藤 昌夫・伊川 広道・鎌形正一郎…653(5)

緊急手術の適応

—虫垂炎—

秋山 洋・中條 俊夫・佐伯 守洋

橋部 浩平・高橋 基夫・浅木信一郎

渡辺 聖……………661(5)

緊急手術の適応

—消化管出血—……………角田 昭夫…673(5)

緊急手術の適応

—腸重積症—

飯島 勝一・青木 克彦・伊藤 正幸…681(5)

緊急手術の適応

—胆道, 脾疾患—

矢野 博道・松本 英則・吉成 元希…693(5)

緊急手術の適応

—腹部腫瘍—…岸川 輝彰・角岡 秀彦…705(5)

T-tube と胆道鏡

Editorial—胆道の精査—……………佐藤 寿雄…782(6)

T-tube 挿入の適応—私はこう考える—

水本 龍二・日高 直昭……………785(6)

T-tube 挿入の適応—私はこう考える—

葛西 洋一・佐々木英制・柿田 章

近藤 博……………791(6)

T-tube 挿入の適応—私はこう考える—

岡島 邦雄・木林 速雄……………797(6)

T-tube 挿入の適応—私はこう考える—

宮崎 逸夫・永川 宅和……………805(6)

T-tube の留置と抜去—私はこうしている—

石山 和夫・岡本 哲彦・固武健二郎…813(6)

T-tube の留置と抜去—私はこうしている—

中山 和道・池田 明生……………819(6)

T-tube の留置と抜去—私はこうしている—

田中 紀男・角田 司・吉野 泰三

土屋 涼一……………825(6)

T-tube の留置と抜去—私はこうしている—

相馬 智・松田 博青……………831(6)

T-tube の留置と抜去—私はこうしている—

小野 慶一・中田 一郎……………837(6)

ネラトン・カテーテルの留置

—私は T-tube を使わない—

久次 武晴……………841(6)

T-tube による合併症

佐藤 寿雄・高橋 渉・植松郁之進

木村 晴茂……………849(6)

術中胆道鏡の実際……………新井 健之…857(6)

術後胆道鏡の実際……………後町 浩二・平塚 秀雄…863(6)

臓器大量切除と栄養

<巻頭言>一般大手術と栄養……………葛西 森夫…946(7)

肝臓広範切除後の栄養管理

都築 俊治・石田元比古・飯田 修平

島津 元秀・上田 政和・松原 了…949(7)

脾臓広範切除と栄養

高三 秀成・佐藤 守・金 清……………959(7)

胃全摘後の栄養管理

榊原 宣・矢端 正克・菊池 友充

小川 健治・矢川 裕一・大橋 正樹…967(7)

小腸広範切除と栄養……………小山 真…973(7)

大腸広範切除と栄養

—大腸全摘(亜全摘)術後障害の対策

と栄養管理—

村上 哲之・今 充・遠山 茂

大内 清太……………985(7)

老年者の手術<併存疾患の診かた・とらえ方>

呼吸機能障害がある場合

—私はこんな点に注意している—

仲田 祐・新田 澄郎……………1081(8)

心臓血管系障害がある場合

—私は開腹術の前後でこんな点に注意

している—林 四郎・小山 省三…1089(8)

腎機能障害がある場合

—私はこんな点に注意している—

太田 和夫・狩野 司……………1097(8)

肝機能障害がある場合

—私はこんな点に注意している—

井口 潔・小林 迪夫……………1105(8)

内分泌機能障害—とくに D.M.—がある場合

—私はこんな点に注意している—

赤木 正信・木原 信市・新田 良男…1111(8)

脳神経障害がある場合

—私はこんな点に注意している—

光野 孝雄・堀 公行……………1117(8)

複合障害がある場合

—私はこんな点に注意している—

山城 守也……………1123(8)

食道癌手術の近況

<巻頭言>食道癌取扱い規約と治療の趨勢

佐藤 博……………1225(9)

胸部上・中部食道癌の手術

鍋谷 欣市・小野澤君夫……………1231(9)

胸部上・中部食道癌の手術……………飯塚 紀文…1239(9)

胸部下部・腹部食道癌の手術

—胸骨正中切開による切除の可能性に

ついて—	
和田 達雄・丸山 雄二・片山 憲持	
小西 敏郎・高浜 龍彦・山村 卓也	1245(9)
胸部下部・腹部食道癌の手術	
石上 浩一・根木 逸郎・長島 正明	
村上 卓夫・安本 忠道・村上 通治	
水田 英司・三井 俊明・岡 正 朗	1253(9)
食道癌切除不能例に対する術式の選択	
西 満 正・加治佐 隆・松野 正宏	
末永 豊邦・福元 俊孝・四本 紘一	1261(9)
食道癌に対する術前合併療法	
藤巻 雅夫・伊 藤 博・田沢 賢次	
斉藤 寿一・真 保 俊・川口 正樹	
佐々木公一・田中 乙雄・曾 我 淳	1271(9)
食道癌術後管理のポイント	
森 昌 造・葛西 森夫	1279(9)
今日の癌免疫療法	
癌免疫療法と診断パラメーター	
—現状における批判と考察—	
螺良 英郎	1365(10)
免疫学的モニター—最近の話題—	
SCM テスト	高久 史磨 1373(10)
MEM テスト—細胞性免疫指標として—	
中島 聡總・小鍛治明照	1379(10)
MLTR テスト	西平 哲郎 1389(10)
皮膚反応テスト	
……………細川真澄男・水 島 豊	1397(10)
癌免疫・化学療法の実際—薬剤選択から成績まで—	
私の処方	
折田 薫三・小長 英二・万波 徹也	
三輪 恕昭	1403(10)
私の処方：とくに特異的免疫療法を中心に	
福島 松郎	1411(10)
私の処方：BCG 生菌による免疫療法の実際	
鳥巢 要道・藤 原 博・宮原 哲郎	
原田 素彦	1419(10)
私の処方：悪性脳腫瘍の総合的治療	
高倉 公朋・佐野 圭司	1427(10)
私の処方：OK-432 腹腔内大量投与	
服部 孝雄・新 本 稔・山県 司政	
谷 忠 憲・峠 哲 哉・原田 達司	1433(10)
<特別寄稿>アメリカにおける癌免疫療法	
入江 礼子・樋口 正臣	1441(10)
検査と合併症	
〈おこさないためには、おこしてまったら〉	
内視鏡による偶発症—上部消化管—	

城 所 尙・林田 康男・権田 厚文	
藤井 佑二・ト部 元道・山下 啓爾	
渡辺 伸介・前川勝治郎・熊谷 一秀	
滝沢 直樹	1521(11)
内視鏡による偶発症—下部消化管—	
安富 正幸・福 原 毅・北 廣 美	1527(11)
内視鏡的逆行性胆道・膵管造影	
—合併症とその対策—	春日井達造 1533(11)
経皮経肝の胆道造影—合併症の予防と対策—	
永川 宅和・宮崎 逸夫	1543(11)
血管造影の合併症とその対策—動静脈造影—	
平松 京一・古寺 研一	1551(11)
血管造影の合併症とその対策	
—経皮的脾門脈造影—	
杉浦 光雄・二川 俊二・深沢 正樹	1561(11)
中心静脈圧測定とその合併症	
海老根東雄・佐々木徹郎・森木 光司	
隅田 幸男	1571(11)
非定型的乳切の術式と適応	
Editorial：非定型的乳房切断術とは何か	
—最近の趨勢—	藤森 正雄 1645(12)
非定型的乳切の術式—私はこうしている—	
両胸筋保存	泉 雄 勝 1649(12)
小胸筋切除大胸筋保存	
久野敬二郎・深見 敦夫	1653(12)
小胸筋切除大胸筋保存	
児 玉 宏	1659(12)
非定型的乳切の術式—適応をこう考える—	
定型的乳切再検討の立場から	
渡 辺 弘・金杉 和男・山 本 浩	
七 沢 武	1667(12)
リンパ節転移の立場から	妹尾 亘明 1673(12)
術後遠隔成績の立場から	
榎本 耕治・浅越 辰男・須 田 厚	
竹下 利夫・池 田 正・石川 広記	
阿部 令彦・原科 孝雄・藤野 豊美	1683(12)
〔カラーグラフ〕	
消化器内視鏡シリーズ<30>	
急性胃潰瘍—体部—	
紀 健 二・佐藤 治邦	10(1)
消化器内視鏡シリーズ<31>	
十二指腸・吻合部潰瘍	相 馬 智 162(2)
消化器内視鏡シリーズ<32>	
阻血性大腸炎	
武藤徹一郎・上谷潤二郎・堀江 良秋	
山城 守也・日野 恭徳	310(3)

消化器内視鏡シリーズ<33>	
大腸結核の内視鏡所見……………丸山 雅一…462(4)	
消化器内視鏡シリーズ<34>	
Mallory-Weiss 症候群……………奥山 山治…614(5)	
消化器内視鏡シリーズ<35>	
食道カルチノザルコーム	
遠藤 光夫・井手 博子・林 恒 男…778(6)	
消化器内視鏡シリーズ<36>	
十二指腸球後潰瘍	
藤田 力也・大 沢 仁・高橋 正憲…934(7)	
消化器内視鏡シリーズ<37>	
Zenker 憩室	
小野澤君夫・鍋谷 欣市・新井 裕二…1070(8)	
消化器内視鏡シリーズ<38>	
胃スキルス	
磨伊 正義・秋本 龍一・中川原儀三	
渡辺毅七郎……………1214(9)	
消化器内視鏡シリーズ<39>	
レンメル症候群……………宮城 伸二…1362(10)	
消化器内視鏡シリーズ<40>	
Crohn 病……………長 廻 紘…1510(11)	
消化器内視鏡シリーズ<41>	
潰瘍性大腸炎……………西 沢 護…1642(12)	
〔グラフ〕	
外科医のためのX線診断学<1>	
胸部X線像(1)……………平松 慶博…13(1)	
外科医のためのX線診断学<2>	
胸部X線像(2)……………平松 慶博…165(2)	
外科医のためのX線診断学<3>	
腹部単純X線像—外傷—……………山本 修三…313(3)	
外科医のためのX線診断学<4>	
腹部単純X線像—急性腹症—……………平松 慶博…465(4)	
外科医のためのX線診断学<5>	
気管支造影……………江口 研二・池田 茂人…617(5)	
外科医のためのX線診断学<6>	
上部消化管造影—食道<その1>	
中山 隆市……………889(6)	
外科医のためのX線診断学<7>	
上部消化管造影—食道<その2>	
中山 隆市……………937(7)	
外科医のためのX線診断学<8>	
上部消化管造影—胃潰瘍—	
五十嵐 勤・佐藤 英典・矢吹 孝志	
渡部 重雄……………1073(8)	
外科医のためのX線診断学<9>	
上部消化管造影—胃癌—	

五十嵐 勤・福原 捷雄・渡部 重雄	
寺内 紀男……………1217(9)	
外科医のためのX線診断学<10>	
内視鏡的膵・胆管造影—ERCP—	
有 山 囊・池延 東男・島口 晴耕…1513(11)	
〔クリニカル・カンファレンス〕	
こどもの腹痛をどうするか	
中嶋 清隆・東 義 治・横山稷太郎	
佐伯 守洋(司会)飯島 勝一……………716(5)	
老年者の麻酔をどうするか	
永津 正章・土谷 晃子・茅 稽 二	
橋 本 肇(司会)諏訪 邦夫……………1136(8)	
〔座 談 会〕	
外科と人工臓器	
能勢 之彦・桜井 靖久・尾本 良三	
(司会) 出月 康夫……………70(1)	
消化性潰瘍に対する迷切術をどうするか	
青木 照明・関 根 毅・渡辺 英生	
松 木 久(司会)武藤 輝一……………230(2)	
CTスキャン—外科医のために—	
蜂屋 順一・平松 慶博・多田 信平	
菅原 克彦(司会)田 坂 皓……………398(3)	
術前・術後の呼吸管理をどうするか	
浅原 廣澄・吉 竹 毅・三 川 宏	
長谷川 博(司会)牧野 永城……………516(4)	
胆道鏡のすべて	
—その歴史、適応と実際、そして将来—	
中村 光司・安 藤 博・新井 健之	
山川 達郎(司会)相 馬 智……………863(6)	
外科医教育のアイデア	
—現状と将来の展望—	
Keith Kelly・Kazushi Tanaka	
広田 和俊・植村 研一・小高 通夫	
(司会)堀 原 一……………1286(9)	
〔鼎 談〕	
消化器外科の基本手技<食道・胃>	
陣内傳之助・葛西 洋一	
武藤 輝一……………1692(12)	
〔臨 床 研 究〕	
人工血管移植術における術後合併症	
—とくに晩期吻合部破裂の対策—	
森山 正明・草 場 昭・牧野 純造	
家守 光雄・劉 焜 祥・井 口 潔…115(1)	
乳腺嚢胞内腫瘍	
—診断と Subgross Procedure から見た	
治療法の検討—	

小坂 昭夫・天晶 武雄・宮崎 道夫
伊井 祥・上 敏明……………123(1)

早期乳癌 (Potentially curable breast cancer)
に関する考察—自験例からみて—
山本 浩・七沢 武・芳川 博哉
森谷 宜皓・松江 寛人・岡崎 正敏
上井 良夫・小林 利次・広田 映五
阿部 令彦・渡辺 弘……………131(1)

ガストリン産生悪性腫瘍による Zollinger-Ellison
症候群の胃全摘後の経過について—
遠藤 巖・杉浦 芳章・長嶺 信夫
東 哲之・野原 雄介・赤松 隆
男全 正三・佐島 敬清・三角 二郎…139(1)

食道癌の発育形式についての検討
塩崎 均・寺島 毅・水谷 澄夫
岡川 和弘・神前 五郎……………269(2)

遺伝性球状赤血球症に併発せる胆石症に関する
考察
青木 豊明・曹 桂植・山下 隆史
鎌谷 正博・梅山 馨・三島 衛
竹村 史・三島 紘一・中村 義尚…433(3)

大腸憩室疾患・大腸癌併存例の検討
伊藤 恭悟・村上 哲之・稲本 純三
熊倉 啓夫・高屋 誠章・松浦喜美夫
松田 恵司・町田純一郎・遠藤 正章
今 充……………439(3)

術後乏尿患者における Dopamine の利尿効果
—その利尿機序に関して—
須磨 久善・山口 佳晴……………557(4)

閉塞性血栓血管炎 (Buerger 病) に対する
血行再建成績と合併症の検討
田辺 達三・川上 敏晃・太田 里美
横田 旻・安田 慶秀・前田 喜晴
本間 浩樹・杉江 三郎……………565(4)

いわゆる肛門直腸痛 (Proctalgia) 40症例
の分析
高野 正博・松田 保秀・武田 孝之…573(4)

高カロリー輸液施行時における血清トランス
アミナーゼの変動とその意義について
碓井 貞仁・小越 章平・坂本 昭雄
山室美砂子・坪井 秀一・岩佐 正人
佐藤 博……………577(4)

膀胱石症の外科的治療
小西 孝司・泉 良平・小山 文誉
村 俊成・船木 宏美・吉田 通章
古戸 俊郎・倉知 圓・永川 宅和

西田 良夫・木南 義男・宮崎 逸夫…583(4)

Flail Chest の管理
田頭 勲・辺見 弘・黒川 顕
金沢 正邦・大塚 敏文・西邑 信男…591(4)

脳神経外科領域における高浸透圧性
非ケトン性糖尿病について
篠原 明・上野日出男・渡辺 学
石井 昌三……………749(5)

石灰乳胆汁13例における考察
—とくにその診断について—
大口 善郎・韓 憲男・伊藤 篤…913(6)

脾体尾部癌患者に対する注腸造影検査の意
義について
別府 真琴・藤本 憲一・疋田 邦彦
栗田 清・平井 健清・村井 紳浩
谷口 積三・吉本信次郎・土居 幸子…917(6)

術後高アミラーゼ血症の検討
—アミラーゼ、アイソザイムの分析を
中心として—
高見 博・尾形 佳郎・須藤加代子
菅野 剛史……………1021(7)

乳腺腫瘍の血管造影所見
沢田 敏・小林 昭智・深谷 徳幸
小林 聰……………1027(7)

血管造影よりみた脾腫を伴う疾患
—いわゆる Banti 症候群と多発性脾
動脈瘤について—
吉田 静雄・小澤 正澄・小林 博徳
大田 治幸・伊藤 篤・前川 利幸…1033(7)

急性腸間膜血管閉塞症
—とくに動・静脈閉塞の相違を中心に—
白水 俱弘・杉町利喜雄・岡 直剛
小副川 武・江崎 武春・米村 智弘
弘野 正司・鶴丸 広長・大田 英明…1165(8)

開心術における大動脈バルーンパンピング
の使用とその患者管理……渡辺 寛…1171(8)

赤外線吸収スペクトル及び原子吸光による
虫垂結石分析と臨床所見
—本邦報告例の集計検討—
石川 広記・米山 桂八・馬場 志郎
花谷 勇治・林 享・関谷 忠助
酒井 美智……………1177(8)

尿管管腫瘍性病変の臨床
松末 智・柏原 貞夫・倉本 信二
前谷 俊三・田中 英夫・香川 嘉宏
青木 孝文・中村 義徳……………1183(8)

Levamisole による癌免疫療法

三輪 恕昭・折田 薫三……………1325(9)

食道裂孔ヘルニアと胃幽門部粘膜脱の合併

例に関する検討

吉野 肇一・P. C. Alnor……………1333(9)

体外循環における Haemacel の使用経験

信 岡 亘・横山 繁樹・小西 理雄

谷 俊 男・北林 正樹・浅妻 茂生…1339(9)

原発性肝癌の治療成績

一切除不能肝癌に対する門脈枝結紮例

を中心として一

吉岡 一典・吉田 奎介・清水 武昭

金沢 信三・高野 征雄・阿部 要一

本間 憲治・武藤 輝一・伊 藤 博…1469(10)

胆道系手術における吸収性縫合材料の検討

夏田 康則・上尾 裕昭・八 板 朗

杉町 圭蔵・中村 輝久・井 口 潔…1477(10)

細胞診・組織診の立場からみた肺癌診断に

関する検討

白日 高歩・重松 信昭・嘉多山直人

吉田 猛朗……………1483(10)

胆管走行異常と臨床的意義

成末 允勇・石 川 純・戸谷 拓二

岡島 邦雄……………1609(11)

腹壁創哆開症例の検討

松本 俊彦・扇谷 一郎・小沢 国雄

杉谷 通治・渡 部 脩・城 所 仵…1615(11)

左胃静脈領域に局所的圧亢進状態を示した

食道静脈瘤症例に対する考察

中山 真一・井 口 潔・小林 迪夫

朔 元 則・別府 和茂……………1727(12)

大腸憩室病一合併症症例を中心とした発生

部位による比較検討一

豊 島 宏・板東 隆文・古川喜一郎

渡 辺 昇・太 中 弘・武村 民子…1735(12)

〔臨床報告〕

回腸転移を示した空腸癌の1例

内田 雄三・草野 裕幸・辻 泰 邦

内村 元継・大江 久岡・吉村 純平

竹重 一正・辻 浩 一……………147(1)

難治性下腿潰瘍を伴った分節的下部下大静

脈閉塞症の1治験例

金 子 博・白川 洋一・十九浦敏男

近藤 宜雄・奥森 雅直・紺 野 進

岩井 武尚……………277(2)

小児外傷性空腸遷延性破裂の1例について

牟田 博夫・下田 穂積・酒 井 敦

太田 英樹・石橋 経久・清水 輝久

浜崎 啓祐・三浦 敏夫・調 亟 治

辻 泰 邦……………283(2)

心膜囊腫自験例の検討

猪口 嘉三・武田 仁良・北里 誠也

篠 原 誠・則松 俊一……………289(2)

Fecal impaction に起因した Obstructive

colitis の1例

金児 千秋・富 田 隆・日高 直昭

北村 紘彦・鈴 木 聰……………445(3)

四肢先天性動静脈瘻

山 家 武・中林 正人・山崎 順彦

伊東 経雄・湯 浅 浩……………599(4)

隣接臓器へ高度に浸潤した頸動脈球腫瘍の

1 治験例

板野 恒之・岡田 幸司・板垣 文夫

内田 發三・関 洲 二・田 中 聰

寺 本 滋・田口 孝爾……………755(5)

大網裂隙内S状結腸嵌入の1例…山 口 隆…1041(7)

大量吐血をきたした Exulceratio simplex

(Dieulafoy)の1治験例

古城 昌義・薬師寺 貢・秋山 吉照

木本 哲夫……………1047(7)

先天性病因が考えられる上腕動脈瘤の1例

石塚 式夫・鈴木 宗平・西 田 伝

井隼 彰夫・関野 英二……………1051(7)

骨形成性脂肪腫

代田 廣志・村山 恒幸・小林 信也

宮 川 信・丸山 雄造……………1189(8)

乳癌根治手術18年後の脊髄硬膜内髄外転移

巣の1例

片山 容一・東 裕 文・後藤 利和

菅原 武仁・坪川 孝志・森安 信雄…1193(8)

食餌性消化管障害の2例

寺井 武寿・横谷 邦彦・中 武 稔

長嶺 慎一・山内 陽一……………1197(8)

穿通性化膿性縦隔洞炎を合併した重症

Mallory-Weiss 症候群の治験例

岡本 晃愷・高橋 幹夫・安藤 太三

渡 辺 孝・三枝 裕幸・裕 賛 発

森 岡 明・星 昭 二・林 正 康

桜 井 護……………1201(8)

誤嚥魚骨による結腸異物性肉芽腫2例の検討

一特にその特徴ある注腸所見について一

草島 義徳・宮崎 逸夫・尾島 敏夫

高柳 尹立	1489(9)
原発性胆嚢管癌と思われた1例	
山口 晋・生田目公夫・山田 洋介	
河野 彰文・出口 康夫・渡辺 弘	
柏田 和子・佐々木康人	1493(9)
甲状腺乳頭腺癌の扁平上皮癌への化生の1例	
高橋 達雄・原田 種一・松土 昭彦	
妹尾 亘明・山下 貢司	1621(10)
原発性硬化性胆管炎の1例	
山際 裕史・岡林 義弘・多田 弘一	
中村 卓・竹内 藤吉・世古口 務	1625(10)
横行結腸腸間膜と後腹膜に生じた Mesenteric Panniculitis の1例	
古田 凱亮・有森 正樹・木村 忠	
栗林 宣雄	1743(12)
十二指腸細網肉腫の1例	
香川 茂雄・大崎 俊英・高倉 範尚	
石川 純・成末 允勇・坂本 昌士	
安田 正幸・岡島 邦雄・原田 英雄	
前田 彰	1749(12)
食道血管腫の1治験例	
北村 道彦・森 昌造・渡辺登志男	
酒井 信光・木村 孝哉・葛西 森夫	
知念 功雄	1755(12)
頸部の亜急性壊死性リンパ節炎の1例	
伊藤 隆夫・北島 修哉・棟方 博文	
遠山 茂・工藤 一	1761(12)
〔外科医の工夫〕	
副腎静脈撮影用カテーテルの形の改良	
加古 健・野々山益雄・立松 輝	
山岡 透・余語 弘	109(1)
Whelan-Moss T-tube	
J. P. Moss・山川 達郎	250(2)
Bird MK-8 Respirator の改造による間歇的補助呼吸 (Intermittent Assisted Ventilation) の試み	
木村 壮介・浅原 廣澄・古田 昭一	533(4)
PTC-D 法の改良	
—PTC から直接 PTC-D へ—	
平形 征・鈴木 文直	1586(11)
〔Spot〕	
アメリカにおける CAT scanning の現状	
松元 輝夫・貝原 信明	409(3)
高齢者開腹術の麻酔—100例の経験から—	
清水由美子・土谷 晃子	1159(8)
免疫化学療法における新しい実験モデル	

片岡 達治	1453(10)
検査合併症と法	野田 寛 1577(11)
〔手術の周辺〕	
手指消毒法の研究<補遺>	
古橋 正吉・宮前 卓之・上田伊佐雄	
池内 宏	733(5)
〔Topics〕	
急性汎発性腹膜炎の外科治療	
—とくに腹腔内超音波洗浄法について—	
岡崎 武臣・桐田 孝史・平林 武	
木村 恒人・倉光 秀磨・織畑 秀夫	997(7)
〔Practical Postgraduate Seminar〕	
ショックの概念と治療	隅田 幸男 100(1)
酸・塩基平衡の理解	
斉藤 滋・相馬 智	260(2)
輸液療法の実践的方法	古屋 清一 428(3)
凝固の障害による出血傾向	
大城 孟・村上 文夫	542(4)
Surgical Oncology	
—癌治療の総合的併用療法の基礎と臨床—	
中島 聰總・梶谷 鏗	900(6)
変遷した外科的感染症とその起因菌	
—治療と予防のための抗生剤の選択と	
その用い方—	酒井 克治 1014(7)
Surgical Pharmacology	
— α, β 刺激薬および遮断薬について—	
大竹 一栄・諏訪 邦夫	1316(9)
基本的手術器械とその手技	永津 正章 1592(11)
急性腹症—腹部単純X線による診断(その1)—	
山本 修三・須藤 政彦	1714(12)
〔外科教育を考える〕	
麻酔科研修(I)—麻酔前回診の重点項目表—	
西岡 克郎・筆田 広登	85(1)
麻酔科研修(II)—腹部緊急手術の麻酔—	
西岡 克郎・斉藤浩太郎	245(2)
〔講座〕	
皮膚縫合の基本<1>	
器具, 縫合材料について	大塚 寿 94(1)
皮膚縫合の基本<2>	
切開線の選び方	大塚 寿 254(2)
皮膚縫合の基本<3>	
皮膚縫合法の基本手技	波利井清紀 418(3)
皮膚縫合の基本<4>	
無血手術に近づく効果的止血法	
大塚 寿	552(4)
皮膚縫合の基本<5>	

- Atraumatic Operation……大塚 寿…742(5)
- 皮膚縫合の基本<6>
- 術後処置のいろいろ……田嶋 定夫…1006(7)
- 皮膚縫合の基本<7>
- 創傷の治癒と瘢痕……田嶋 定夫…1310(9)
- 皮膚縫合の基本<8>
- ケロイドと肥厚性瘢痕……波利井清紀…1461(10)
- 皮膚縫合の基本<9>
- 新鮮外傷に役立つ知識
- (その1)創傷処置—……田嶋 定夫…1604(11)
- 皮膚縫合の基本<10>
- 新鮮外傷に役立つ知識
- (その2)植皮術—……田嶋 定夫…1720(12)
- 〔書 評〕
- Edgar C. Boedeker, James H. Dauber 編集,
高久史磨・和田攻 監訳「内科治療マ
ニュアル」……相馬 智…90(1)
- 竹本忠良・春日井達造 編集「膵・胆道の
内視鏡検査」……田島 芳雄…183(2)
- V. J. Collins 著「Principles of Anesthesiology」
池園悦太郎……221(2)
- 松井孝嘉, 平野朝雄 著「CT SCAN
診断のための脳解剖図譜」…高橋 睦正…379(3)
- B.A. Waisbren 著「Critical Care Manual」
畑山 善行……415(3)
- 阿部正和・他 編集「臨床診断学 診察編」
柏木平八郎……652(5)
- 高木 誠 著「急性心筋梗塞—往診から CCU
まで・第一線での取り組み方—」
岩崎 栄……730(5)
- K. Beck, W. Dischler, M. Helms,
W. Oehlert 著, 竹本忠良, 多賀須幸男 訳
「図説 腸疾患の内視鏡と生検」
武藤徹一郎……731(5)
- 松井孝嘉, 平野朝雄 著「CT SCAN 診断の
ための脳解剖図譜」……永井 政勝…804(6)
- 長尾房大 著「胃潰瘍の手術—広範囲胃切除術」
佐藤 博……885(6)
- 加藤英夫・他 編「今日の小児治療指針(第2版)」
中山健太郎……886(6)
- R.A. Chase 著 東大医学部整形外科
手の外科診グループ 訳「手の外科手術
アトラス」……田島 達也…887(6)
- 阿部正和・他 編集「臨床診断学 診察編」
岡安 大仁……994(7)
- 丸山雅一 著「Radiologic Diagnosis of
Polyps and Carcinoma of the Large
Bowel」<英文版>……武藤徹一郎…995(7)
- 大藤正雄・他 著「Cholangiography and
Pancreatography」<英文版>
亀田 治男……1032(7)
- 鍋谷欣市 著「食道癌根治手術—胸壁前再建術—」
佐藤 博……1116(8)
- P. A. Tumulty 著, 日野原・塚本 訳「新し
い診断学の方法論と患者へのアプローチ
—よき臨床医をめざして—」
相澤 豊三……1301(9)
- 吉利 和……1302(9)
- 清水喜八郎・紺野昌俊 著「再評価後の抗生物
質の使い方」……長谷川弥人…1302(9)
- ……菅 邦夫…1303(9)
- 阿部正和・他 編集「臨床診断学 診察編,
検査編」……吉岡 昭正…1304(9)
- 村上治朗 著「鼠径・大腿ヘルニア手術図説」
本多 憲児……1481(10)
- 高田忠敬 著「図解 経皮的胆管ドレナージ」
相馬 智……1496(10)
- J. L. Craven, J. S. P. Lumley 著,
鰐淵康彦・他 訳「MCQ 外科問題集」
葛西 洋一……1569(11)
- 阿部正和・他 編集「臨床診断学 検査編」
柏木平八郎……1581(11)
- 亀田治男 編集「消化器病学」
相馬 智……1710(12)